

日 本 社 会 病 理 学 会
第 25 回 大 会
報 告 要 旨 集

開催校 : 國學院大學

開催期日 : 2009 年 9 月 26 日(土)・27 日(日)

日本社会病理学会 第25回大会プログラム

開催校	國學院大學		
会 期	2009年9月26日（十）～9月27日（日）		
会 場	國學院大學渋谷キャンパス （〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28）		
理事会	9月26日（十）	11：30 ～ 12：30	若木タワー5階 0508教室
総 会	9月26日（土）	16：40 ～ 17：20	学術メディアセンター 常磐松ホール
懇親会	9月26日（十）	17：30 ～ 19：30	若木タワー18階 有栖川宮記念ホール

第1日 9月26日（土）

12：30 ～	受付開始	学術メディアセンター1階 多目的ホール
13：20 ～ 13：30	開会式	学術メディアセンター 常磐松ホール
13：30 ～ 16：30	公開シンポジウムⅠ	学術メディアセンター 常磐松ホール
16：40 ～ 17：20	総会	学術メディアセンター 常磐松ホール
17：30 ～ 19：30	懇親会	若木タワー18階 有栖川宮記念ホール

第2日 9月27日（日）

9：00 ～	受付開始	学術メディアセンター1階 多目的ホール
9：30 ～ 11：45	自由報告Ⅰ	学術メディアセンター 常磐松ホール
11：45 ～ 12：45	昼休み	
12：45 ～ 13：55	自由報告Ⅱ	学術メディアセンター 常磐松ホール
14：00 ～ 16：00	公開シンポジウムⅡ	学術メディアセンター 常磐松ホール
16：10 ～ 16：20	閉会式	学術メディアセンター 常磐松ホール

参加費 会員および臨時会員 2000円 （大学院生 1000円）

懇親会費 5000円 （大学院生 2000円）

連絡事項

<大会参加者のみなさまへ>

- ・参加費、懇親会費は、大会当日に受け付けでお支払いください。
- ・会員控え室は設けませんが、多目的ホールで飲み物を提供させていただきます。
- ・土曜日は、学術センター内のカフェ・ラウンジおよび3号館の食堂が営業しています。
- ・日曜日は、明治通りに行きますと、各種のレストランや食堂があります。

<報告者のみなさまへ>

- ・報告時に配布するレジュメ・資料等は、報告者ご自身でご用意願います（80部）。
- ・大会校がPCを用意します。Power Point を使用される際には、USBメモリーを持参して、午前9時には常磐松ホールにご来場ください。

<問い合わせ先>

- ・前日までの連絡先：國學院大學横山実研究室
あるいは法学資料室 にお願ひします。
なお、大会当日の問い合わせには応じかねますので、ご了解ください。

公開シンポジウム I

中高年男女の生きにくさ——日常性に潜む『病い』 パートⅡ

司 会 神原 文子(神戸学院大学)

基調講演

中高年男女の生きにくさ

信田 さよ子(原宿カウンセリングセンター所長)

シンポジスト

中高年男性の自殺から見える生きにくさ

高原 正興(京都府立大学)

中高年の家族を抱える生きにくさ

保坂 恵美子(久留米大学)

本学会の2008年～2010年の3年間の共通テーマを、「日常性に潜む『病い』」と設定し、昨年の「若者・子どもの生きにくさ」に続き、2009年度は「中高年男女の生きにくさ」に焦点をあてたシンポジウムを企画しています。

今、わが国の中高年男女のなかで、雇用不安、賃金カット、過労死、リストラ、自殺、借金や家計のゆきづまり、DV・虐待、介護問題など、解決困難な問題に直面していたり、不安をかかえていたりする人びとが少なくないと察せられます。この度のシンポジウムでは、だれもが生きにくさを感じる現状を直視し、社会的背景を解き明かすことをねらいとしています。

公開シンポジウム Ⅱ

環境保全をめぐる社会病理現象とその対応--Rural Area 問題に焦点を当てて

司 会 横山 実(國學院大學)

シンポジスト:

過疎農山村、近年(1990 年頃以降)の変化と変わらないもの

—九州・中国地方の農山村調査から—

山本 努(県立広島大学)

ごみ問題の現地調査を通して見えてくるもの

—不法投棄と廃棄物処分場建設に対する住民たちの闘い—

菅井 益郎(國學院大學経済学部)

環境問題と有機農業運動

久保田裕子(國學院大學経済学部)

司 会 入江 良英(埼玉純真短期大学)

高橋 征仁(山口大学)

1. 男性同性間の匿名的性交渉の空間(「ハッテン場」)における社会病理と秩序

石田 仁 聖マリアンナ医科大学・非

2. 監視カメラの社会的機能－監視社会化の中で監視カメラが選択されるのはなぜか－

朝田 佳尚 日本学術振興会特別研究員

3. 「自傷サイト」とは何か, 「自傷」とは何か－当事者の語りから－

砂谷 有里 明治学院大学・院

4. アイデンティティとしての病－自傷がリストカットになるとき－

山口 真由 東京大学・院

5. 障害受容概念と社会的価値－当事者の視点から－

岩井 阿礼 淑徳大学

6. 在日日系ブラジル人と在伯日本人の移民過程の比較考察

中桐 規碩 ぐらしき作陽大学

司 会 井出 裕久(大正大学)
近藤 諭 (志学館大学)

1.住宅業界における大量生産, 大量販売, 合理化と住宅会社社員の働きすぎ

前島 賢土 中央大学

2. 警備員の労働実態に関する一考察ー地方警備業のインタビュー調査を中心としてー

田中 智仁 東洋大学・院

3.ホームレス状況にある主体についての実存的考察ー邂逅、支援、回復へー

馬場 佳久 帝京大学・保育専門学校